

会議概要（平成30年10月2日）

案 件 災害時の議会・議員のあり方について、その他

1 明石市議会における災害時の議員行動マニュアル（案）について

前回提示した要領（案）及びマニュアル（案）について、各会派から意見を聴取。要領（案）に対しては、次のとおり各委員から意見があった。

- ・ 第5条第3項の連絡会議の会議録については、会議の性格上、個人情報を取り扱うことも多いと思われることから、詳細な会議録ではなく、会議の要旨を残す程度にしてはどうか。
- ・ 会議録については、個人情報まで詳細に載せたものを作成する必要はないが、どこまでの会議録を作成するかについては、しっかりと検討していくべきだと思う。
- ・ 第7条第2項の連絡会議を通して要望を行うことについては、要領の内容をまとめたフロー図の中に、「緊急の場合」という注記を入れて、議員から市災害対策本部へ連絡ができるという意味の矢印を加えてはどうか。
- ・ タブレットが議会に導入されれば、議員が災害現場から生の情報を伝えることも可能となるため、要望や連絡の方法については今後、修正の可能性はある。またその際には、市災害対策本部のホワイトボードの情報を写真で共有するなど、できることが広がってくるので、それを見込んだ要領やマニュアルにしてはどうか。

マニュアル（案）に対しては、第2の1の1の（1）①オ 災害時の地域活動への協力・支援の項目について、「必要に応じて」支援を行う等の表現の方がいいのではないかと意見が出たほか、第3の行動時の留意事項について、次のとおり各委員から意見があった。

- ・ 行動時の留意事項を細かく記載すると支援活動の際の行動が大きく制約されるため、細かく記載するべきではない。
- ・ 被災地支援は「自己完結型」で行うということを記載すれば足りるのではないか。
- ・ 他の自治体に支援に行くのであればまだしも、地元の明石市での支援の場合にはここまでの対応は必要ない。今回のマニュアルは、あくまでも明石市内での議員の支援について記載するものとして整理してはどうか。
- ・ 被災地支援に詳しい議員ばかりではないし、議員が避難所や被災地に出向いて物資を要求したりすることがないようにするために、何を用意するべきか等については、細かく記載したほうがよい。

以上の意見を踏まえ、要領（案）及びマニュアル（案）の修正を正副委員長に一任し、次回の活性化推進委員会で提示することを確認。

2 議会報告会について

議会局より、「平成30年度議会報告会について」に基づき、本年度の議会報告会について、開催日時・場所・対象団体・テーマ・実施体制及び報告書の作成について確認。また、活性化推進委員については、各議会報告会に1～2名が応援議員として参加することを確認。

開催日時等については、記者クラブへの情報提供のほかHPへの掲載を行うことを説明、了承。

3 その他

なし

4 次回議会活性化推進委員会の開会日時について

10月19日（金）午後1時30分に開会することを確認。

以上